

2021年1月22日

岐阜乗合自動車株式会社
西鉄エム・テック株式会社
株式会社 YE DIGITAL

岐阜バス

Nishitetsu
Group

YE DIGITAL

中部地方初！「スマートバス停」が 「長良川国際会議場前」バス停において1月22日より稼働開始 ～バス停の電子化・DX推進でお客様の利便性向上へ～

岐阜乗合自動車株式会社（本社：岐阜市九重町 代表者：黒川公男、以下、岐阜乗合自動車）は、株式会社 YE DIGITAL（本社：北九州市小倉北区 代表取締役社長：遠藤直人、以下、YE DIGITAL）と西鉄エム・テック株式会社（本社：福岡市中央区 代表取締役社長：前川義広、以下、西鉄エム・テック）が共同開発したスマートバス停（郊外モデル：Type-C）を、2021年1月22日（金）より、「長良川国際会議場前」バス停において運用を開始します。この度の岐阜乗合自動車への導入により、スマートバス停が初めて中部地方で採用されたこととなります。

スマートバス停とは、デジタルサイネージにバスの運行時刻表や運行系統図を表示することに加えて、その他の告知文や広告などをリアルタイムに更新、表示できるバス停です。現在時刻に合わせ、直近の便の時刻を拡大表示する機能も有しており、バスをご利用になるお客様に分かり易く表示することができます。今回設置するスマートバス停（郊外モデル：Type-C）は、ソーラーパネルとバッテリーを使用した省電力タイプのオフグリッド対応モデルとなっております。また、バックライト付きの液晶画面を採用しており、高い視認性が確保できます。

YE DIGITAL 及び西鉄エム・テックは、「脱炭素化社会・SDGsの実現」と、「より活気あふれる街づくり」に向け、スマートバス停の導入事例を積み重ねることで、お客様の利便性向上と公共交通ネットワークの発展に寄与して参ります。

岐阜乗合自動車は、わかりやすいバス情報の提供によりお客様の利便性向上に一層努めて参ります。

■設置の様子

「長良川国際会議場前」バス停は、イベント開催時などは初めて岐阜乗合自動車をご利用になれるお客様も多いため、スマートバス停（郊外モデル：Type-C）を設置することで、より見やすくわかりやすい情報提供に寄与できると考えております。

<昼間の様子>



<夜間の様子>



■時刻表作成の手間を削減、D X（デジタルトランスフォーメーション）を実現！

YE DIGITAL が提供するスマートバス停クラウド「MMsmartBusStop」は、標準的なバス情報フォーマット（GTFS、General Transit Feed Specification）との連携機能があります。「MMsmartBusStop」にバス事業者が保持するGTFS データを取り込むことで時刻表を自動生成します。ダイヤ改正日には自動的にダイヤ改正後の時刻表がスマートバス停に表示出来るようになります。ダイヤ改正予告の掲示も可能です。本機能を使用することで、バス事業者の作業負担軽減に繋がります。



■各社の役割

- 岐阜乗合自動車 運行管理
- 西鉄エム・テック スマートバス停の開発支援及び販売
- YE DIGITAL スマートバス停の開発、クラウドサービスの提供、及び導入支援

※ 記載されている会社名、商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

本発表に関するお問合せ

<スマートバス停の設置について>

岐阜乗合自動車株式会社 バス営業部 / 総務部

電話：(058)240-8816（バス営業部） / (058)240-8800（総務部）

<スマートバス停の販売について>

西日本鉄道株式会社 西鉄お客さまセンター

電話：(0570)00-1010

<スマートバス停・クラウドサービスの開発について>

株式会社 YE DIGITAL マーケティング本部マーケティング企画部

電話：(093)522-6563 メール：press@ye-digital.com